

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	ハートの家貳番館	評価実施年月日	平成21年12月16日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年11月28日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>ホー一人としての共通の理念が各ホームの理念と成っております。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念を共有し実践に向け日々御町内の方々と交流が持てるような場面作りに努力しております。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>御町内の回覧談にホームの状況や理念を載せて頂いております。又御家族様には契約時にお話させて頂いております。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>回覧板やゴミ捨て、畑仕事の時ペットを連れた散歩時等には必ず挨拶をする様に心がけ実行しております。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会の文化祭、幼稚園のバザー、に参加、又町内会の方々のボランティアのご協力も頂いております。</p>	○	<p>現在近くの小学校との交流が出来ればと考えており、それに向け努力しております(ペットボトルのキャップ集め)等</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ホームの行事等に御近所に住む独居の方を招待して利しており喜んで頂いております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>外部評価を実施する意義を理解、評価を生かし改善に取り組んでおります。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>其の都度行われた(行事、ホームの状況、スタッフ状況、入居者様状況)等の報告や今後の予定を話し合っております。意見や要望を取り入れサービス向上に繋がっています。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>管理者会議や月々の報告等で連携を取らせて頂いております。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修会や勉強会に全てのスタッフが出席出来理解出来る様に勤めております。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>法人内でも虐待防止役員会を立ち上げており担当スタッフはホーム内での勉強会もしております。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>必ず数回御話をさせて頂き、必要に応じて再度説明させて頂いております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御家族様とは出来るだけ話し易い環境を作るように心がけ、気楽に意見が言える様努力させて頂いております。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月のホーム便りや電話、手紙等で其の都度御知らせしております。	○	現在はお話だけでなく、3ヶ月に一度生活状況や健康状況をお手紙で御知らせしています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に苦情箱の設置、契約時に苦情の流れ等説明しており、不満や要望が気楽に話せるように努力しております。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の補充等もスタッフと相談意見等を聞いております。スタッフからの様々な要望に関しても出来るだけ聞いております。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	外出、通院、一泊旅行、月々の行事等必要に応じた勤務体制と成っております。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	法人内異動や退職に関して入居者様の心の負担になる事は多々有るかと思っておりますが出来るだけ前の管理者に会う機会を作ったりして対応はさせて頂いております。	○	入居者様の心の負担を考えると、出来るだけ長く職員が勤務して頂けるか等を考えて行かなければ成らないと感じております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>法人研修、外部研修、ホーム内研修等取り組んでおり、法人から各ホームに年間研修予算が割り当てられており、スタッフは出来るだけ希望する研修に出席できております。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>東区の管理者会議の中でスタッフを含めた勉強会を行っており其中で交流を含め色々な意見交換を行いサービス向上に繋げております。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>スタッフ同士が話し易い場所の確保や気楽に話せる上司の確保に努めております。</p>	○	前は法人で集まり運動(フットサル)等をしておりましたが、参加者が居なく現在は休止と成っております。今後気楽に色々なスタッフが参加でき気楽に話し合える事が必要と感じており考慮中です。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>月々法人の管理者会議があり各ホームの悩み事、事故発生、最新情報等が話し合われ結果はホームに報告、情報や勉強法などの情報により出来るだけ各スタッフの向上心を高める努力をしております。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前に数回の面談やお話し合いをさせて頂いております。御家族様の意向や御本人の希望を聞いており入居前には必ずホームの見学、雰囲気を見て頂いております。又必ず御本人の同意を頂くようにしております。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>御家族様の意向や希望、心配事が出来るだけ最小になる様納得出来るまで話し合いを持たせて頂いております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談者が今一番必要としているサービスの種類と一緒に考え此方からの情報やサービス機関の紹介を行っております。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人の性格、仕事、趣向、家族関係、嗜好、を考慮出来るだけ早く馴染んで頂ける様に御家族も含め対応させて頂いております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者様と共に(畑仕事、炊事、花壇作り、行事参加)等を含め一緒に支えあえる事で信頼関係を築くようにしております。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時や電話、手紙等で御本人の近況報告をさせて頂き、新しい情報等御家族様から頂き一緒に本人が抱き良い生活が送れるように努力しております。	○	苦情や要望が気楽に話せる機会がもう少し出来る様な状況が出来ればとも考えて居ります。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	御家族様と外出や外泊の機会を積極的に持てるように配慮しております。(送迎等ホームで行う)		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ホーム等の出入りは自由でゆっくりくつろげる場の提供、手紙等の支援、電話利用等御家族様や友人との外食等希望に応じて対応しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士強い人が、弱い人を助ける等、どうしても、気の合わない人の関係は把握しており其の都度対応支援させて頂いております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	お見舞いや電話、ホーム便りを送付したりしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ1人1人の要望や意向に添う努力をしている。	○	買い物、ドライブ、気分転換など希望が有ったときは極力本人と一緒に 行っております。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族様や御兄弟、本人からの情報を大切に新しい情報と共に生かして居ります。	○	御家族様や御兄弟様からの情報と御本人様からの情報では足りない部分がある事を感じております。友人や近所の方々の情報も必要かと思 っております。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう に努めている。	日々の生活、変化(風邪、便秘)等日誌や申し送りノートに記入スタッフ全員が情報 の共有に勤め把握するようして居ります。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な 監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と 話し合い、それぞれの意見やアイデアを 反映した介護計画を作成している。	月1回の検討会、変化時の検討会を行っており問題点等を話し合い1人1人の介護計 画に関りながら作成させて頂き、御家族に説明要望も聞きサービスに繋げておりま す。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護目標期間に沿って計画的に見直しを行い、又変化時(入退院時)により御家族様とも相談(担当医)からの所見等も考慮に入れた見直しをした新しい介護計画書を作成している。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活状況を個別日誌に記載、生活の様子やサービスの実施状況と併せながら評価等を共有し計画の見直しの際の資料とさせて頂いております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	希望や要望に応じてお互いに訪ねあったり、一緒に散歩や買い物に行ったりと其の時々に応じて対応出来る様にしております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	週1回の社交ダンス、行事の時のハワイアンや大正琴、民謡等ボランティアさんが入ってくださっております。(町内会)(御近所)の方々 又避難訓練時には御町内の方々も参加して頂いております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他の利用はして居りません。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在地域包括支援センターとの協議として会議に出席して頂いている事と御近所の独居老人の紹介やホームでの参加に御協力頂いている程度です。	○	今後も御近所の独居の方々にはホーム側として出来る事等相談しながら連携を取って行ければと考えて居ります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	担当病院には其の方にあった定期受診を行っております。緊急の場合も24時間対応をして頂いております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医に受診、通院時や変化の見られる場合其の都度相談させて頂いております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	緊急時や変化が見られた場合等往診、電話指示などを頂いております。又往診定期的に往診させて頂いております。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院等の場合等、ホーム側の意向、御家族様の意向等必ずお伝えして居ります。入院期間の情報も頂いております。早期退院を心がけ早期リハビリ等して頂いております。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	契約時に重度化した場合の説明をさせて頂いております(ターミナルも含め)法人としての指針も出来ております。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	御入居様や御家族様のご希望が第一と考えて居ります。終末期を向かえる入居者様や御家族様が安心出来る様に担当医の方と相談や先生からの説明等の体制をスタッフ御家族様を含め一緒に話し合えるようにしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入居前や退去時には御家族様を含め御本人の意向を把握し情報交換時や話し合いの中で住み替えによるダメージの大きさ等を話し合っております。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者様個々に関して其の方のプライドや心の傷に繋がる様な声かけは極力避けております又法人内でのプライバシーに関しての勉強会などしております。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者様の個々の人間性を大切に、話を聞く、行動を見守る、表情を見る、等で日々の生活支援をしております。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>基本的な1日の流の中で、1人1人が自分の生活パターンを持って居りますのでそれに添って生活を支援して居ります。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>御自分で其の日着る洋服等は、基本、本人に選んで頂いております。又美容室や訪問理容の希望も御本人が好きな方で出来る様に支援しております。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>献立や調理に関して、盛り付けや味に工夫して食欲がわく様に努力しております。配膳や下膳に関しましても出来る範囲でお手伝いして頂き、野菜等の下ごしらえも個々の能力に応じてお手伝いして頂いております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	入居者様の個々の希望に添って(甘いのが好き・嫌い)など全員を把握しており、希望に添って支援しております。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	日々の排泄を記入、個々の排泄パターンを把握、時間誘導、担当医との相談、等で出来るだけトイレで排泄出来る様支援しております。又日誌の中や一覧表の中でスタッフ全員が把握スムーズにトイレ誘導が出来る様に支援しております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的には男性、女性と入浴日が決まっておりますが、其の方の体調や気分によって何時でも入浴出来る様な体制に成っております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の体調や気分を大切に昼寝や、日中の活動(遅い時間の活動)に配慮居室の光や明るさに(豆電氣)気を配り落ち着いて寝れる様支援しております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の生活歴や職業等を考慮しながら出来る事(楽しみながら)の支援をしております。出来るだけ本人が自発的に主役に成れる様支援しております。	○	楽しく出来るもの、主役に成れるものや一緒に楽しみを共有できる物が個々の残存機能、能力に有る事を把握して行きたいと考えて居ります。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に金銭管理が出来る方(軽度の支援)に関しては個人で管理しております。又希望時には買い物と一緒に頂いて頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物、散歩、ドライブ、其のつど都度に支援しております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	温泉一泊、お花見、公園等御家族様や御近所の方々への参加も呼びかけ行っております。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	基本的に電話、手紙は自由になっております。文字の読めなくなった方や、書く事が出来なくなった方に関してもお手紙の代筆、説明等の支援をさせて頂いております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	お客さまに関しては、時間、曜日等に関係なく何時でも訪問可能と成っております。お客様には居室や居間でくつろげる様に支援しております。(一緒に食事、一緒のおやつ)等くつろいで頂ける様にしております。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人としても身体拘束、虐待の研修委員会を設け、委員は各ホームでのバン協会を開いて居ります。基本絶対行わないが事として実践に繋げております。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ホームの玄関は日中(7:00~8:00)程度までせつ錠はして居りません。居室も御本人が鍵を掛ける場合を除いてせつ錠はして居りません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員の配置に気を配り必ず入居者様が見える様、物音が聞こえる様にしております。声がけや見守りを充分出来る様に支援をしております。	○	スタッフ間の声がけ、現在の居場所の確認をもう少し徹底して行きたいと思っております。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者様の状況に合わせ鍵等の管理をさせて頂いております。(包丁、鋏、画鋸、爪きり)ご本人からの要望があった場合、スタッフ見守り等で使用して頂いております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	日常的に身体能力、認知度等の観察を行い記録しております。又変化時や検討会議の中で話し合い個々の状況を把握スタッフ全員が情報を共有しケアにあたるよう事故防止に心掛けて居ります。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	外部研修、ホーム内研修、救急救命の講習に参加、其の都度必要に応じて繰り返し勉強の機会を持って居ります。又法人としてのマニュアル、ホームとしてのマニュアルも作成しております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回の避難訓練の実施、消防署からの講義、(消火器の使用法、非難の方法、)等や注意事項、避難場所の確保(非難時の受け入れ先)火災報知器の活用、ホットラインの設置もしております。	○	地域の方々との連携(避難訓練参加)して頂いたりしておりますが、今後御近所の協力をどんな形で得られるか? 推進会議の中で掘り下げた話し合いが必要かと感じております。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	入居者様の現在の状況を出来るだけご説明させて頂きながら、起こりうる状況をお話させて頂いております。又お手紙で御知らせさせて頂いております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	1人1人の日常の状況を把握(食分量、水分量、排泄、平均体温、平均血圧)変化時には担当医に報告相談、受診を行っております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	現在服用している処方箋の確認(個人別ファイル)スタッフ全員が内容の確認が出来る様にしてあります。また投薬変更に関しては経過確認の為、センター方式の24時間シート使用し得た情報は担当医、スタッフ全員が共有しております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	担当医との連携と日々の水分摂取に心掛けております。(1200ml以上)又食事にも気を配っております。(繊維の多いもの、乳性品)等 食後必ずトイレに座って頂く習慣も心掛けております。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝、毎食後、就寝前の歯磨き、義歯洗浄は個々に応じて日常的に支援しております。	○	拒否の多い入居者様や理解できない方々も増えて来ている状況の中で今後は如何すれば拒否が少なく口腔ケアが出来て行くのか歯科の担当医に相談かんがえて行かなければと思っています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食分量や水分の摂取状況は個々の記録に残しております。食欲の無い状況を全員が把握好きな物(おにぎり、菓子パン)などの代替や本人に合わせた(お粥)などで栄養を補給して頂くようにしております。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人マニュアルがあり毎日ホーム内の消毒に努めております。時期、時期には研修会も開き、全員で感染予防に取り組んでおります。予防接種に関しては御家族様に御理解を頂入居者様、スタッフ全員がさせて頂いております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>スタッフは、台所、調理器具、の消毒、冷蔵庫の消毒に努め、新鮮で安全な食材を使用するように心掛けております。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>ホーム前の花壇や玄関ホールに花やプランターを置かせて頂いております。段差には滑らないようにカーペットを使用し、車椅子、歩行困難の方に対応出来る様につきスロープも設置しております。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居間や廊下には季節事に飾り付けを変えたり、思い出の写真を飾ったり、季節の行事を壁に貼って入居者様のコミュニケーションの手助けが出来る様にしております。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個々に好きな場所で過せるようにテーブル、椅子、ソファを配置しております。音楽を聴いたり、TVを見たり其々が自由に過す場所を作るよう努力しております。</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には、御本人や御家族様のご希望が出来るだけ取り入れられております。(使いなれた物、馴染みの小物、仏壇)等入居者様が安心して生活出来るように心掛けております。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>各部屋の暖房は個々に併せて温度調整をさせて頂いております。居間と廊下、トイレ等の温度差が少なく成るように気をつけております。又換気扇や消臭剤等も使用させて頂いております。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	車椅子の方、歩行困難の方、に間しては階段の昇降機使用、ホーム内は手すりを設置個々に併せて安全を確保するようにしております。	○	歩行、摂食、排泄等自力で行う意欲の有る方に関してスタッフの介入が多すぎる事が有り今後の課題と成っております。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	個々の能力を見極め少しのお手伝いと見守りで出来る事は自立して生活出来るよう支援しております。	○	入居者様の現在の能力をもっと的確に把握できる事を支援、スタッフが差し上げるのが優しさで無い事の理解と一緒にする事、見守る事、現在の状況を1日も保っていける事の大切さの確認が必要かと現在勉強中です。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ホームの前の花壇の花や野菜の収穫、裏の畑の収穫祭、プランタンの水遣り等入居者様が意欲を持って行ったり楽しんだりしております。		

V. サービスの成果に関する項目				
項目	取り組みの成果			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない	2	新しい入居者様も居りますので全員を把握しているとは思えませんが、現在御家族様やご本人から新しい情報等も聞き今後繋げて行きたいと思っております。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	1	御話をしたり、一緒に手芸をしたり(箱作、広告の片付け、野菜の下ごしらえ)等日常的にしております。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	1	好きな時間に起きて、好きなTVを見て、歌を聴いてなど個々の時間を過ごしております。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	1	出来ていると思っておりますが、中々理解出来ない事も有り今後の課題かもしれないと思っております。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	2	外に行く事の拒否が強く通院時のみの入居者様も居ります。今後外出拒否に関して度の様な声がけや対応が良いのか考慮して行く必要があるとっております。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	1	其々が担当病院に定期受診をしております。変化辞に対しても担当病院が24時間対応して頂ける様に成っております。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	2	要望や体調を訴えられない入居者様に関しては、此方の思いが強く反映してしまっているのではと危惧しております。要望をう絶える事が出来る方にはできるだけ希望に添うようにしております。(買い物、気晴らし、散歩、ドライブ)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない	1	御家族様との関係は良いと思っております。御家族様の方から相談事やご希望などスタッフのほうに良く話して下さいます。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	2	週に2回~3回尋ねてくださる方が多く居ります。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	2 避難訓練に参加して頂けたり、ボランティアで来て頂けたりと少しずつですが確実に増えてきてくださっております。
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	2 未だ仕事に成れていない事も有り色々勉強と緊張の最中のスタッフも居ります。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	2 同姓介護を心掛けておりますが、入居者様にとって言い易い方、異性を意識して排泄等の始末を中々頼めない等の問題も有るかと思っております。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	2 新しい入居者様の御家族は御自分にとっても、スタッフにとっても心配事や不安が多い常態かと思っております。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

現在身体拘束、虐待の研修委員会、感染症の研修委員会を立ち上げて日々努力しております。又スタッフのレベルアップの為の外部研修、法人研修等も積極的に行っております。